



守口小だより

令和3年10月28日

第17号

守口市立守口小学校

発行者 横山 美香

教育目標：自ら学ぶ意欲にあふれ、共に高め合い、心豊かで未来を切り拓く子どもの育成

令和3年度 すくすくウォッチ（小学生すくすくテスト）の結果概要

○令和3年5月27日（木）に5年生と6年生を対象に実施されました。

本校の結果の概要についてお知らせいたします。



調査概要

- 1 調査の目的 ○子どもたち一人ひとりが自らの強み等を知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。
- 2 実施内容 ○5年生：国語・算数・理科・わくわく問題（教科横断型問題）※・アンケート
○6年生：わくわく問題（教科横断型問題）※・アンケート
○教職員：アンケート

※わくわく問題出題内容

- ・教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題
- ・文章やグラフ、ホームページの映像を模した場面等の様々な資料を題材としている。問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

各教科に関する調査より



<< 国語 >>

本校の平均正答率は、82.9% でした。（守口市 78.3% 大阪府 81.6%）

問題の結果分析

- 【言葉の特徴や使い方に関する事項】については、83.8%でよくできています。
- 「正しい助詞を用いて文を書くため、文中の誤った助詞に気づき、適切なもの書き直す」の正答率は、80%を超えており、よくできていました。
- 【情報の扱い方に関する事項】については、最後の問題で、府の正答率より7ポイントで課題が見られます。
- 最後の方の問題、10、11、12で、正答率が府よりも低く、無解答率が府より高くなっています。

<< 算数 >>

本校の平均正答率は、48.2% でした。（守口市 45.3% 大阪府 48.5%）

問題の結果分析

- 【測定/変化と関係】の「体重の変化を表したグラフから、正しく数値を読み取り、4か月目までの体重の正しい数値を書く」の正答率は、93.5%でよくできていました。
- 【数と計算】【測定/変化と関係】の「2つの量の関係を、正しく文章で説明し、記号を使って数量の関係を一般的な式で表す」の記述式の正答率は、19.6%で課題が見られます。
- 【図形】の「長方形の縦と横の長さから、周りの長さを求める」の正答率は37.4%、「辺の長さが2倍になったときの面積の変化を理解し、長方形の辺の長さが2倍になったときの面積が元の面積に比べて何倍になっているかを書く」の正答率が35.5%で課題が見られます。

＜＜理科＞＞

本校の平均正答率は、48.5% でした。(守口市 44.0% 大阪府 49.2%)

問題の結果分析

- 【物質】の「同じ体積でも金属の種類によって重さが違うことを理解し、3つの球がそれぞれ鉄、アルミニウム、銅の何でできているかを書く」の正答率が68.2% (府60.2) で他の領域の中では、ある程度できています。
- 【地球】の「グラフを正しく読み取り、方角ごとの地面の温度変化の組み合わせとして適切なものを選ぶ」の正答率が26.2% (府27.6)、「暑さをやわらげる効果を大きくするグリーンカーテン作りの適切な場所を選び、その理由を書く」の正答率が23.3%で課題が見られます。
- 【エネルギー】の「豆電球が光らなかった原因としてあてはまるものを選ぶ」の正答率が26.1%で課題が見られます。



＜＜わくわく問題（教科横断型問題）＞＞

本校の平均正答率は、61.3% でした。

＜＜6年生＞＞

本校の平均正答率は、65.7% でした。(守口市 59.7% 大阪府 65.1%)

＜＜5年生＞＞

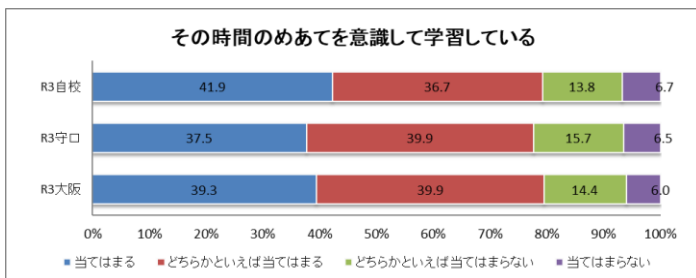
本校の平均正答率は、57.1% でした。(守口市 51.1% 大阪府 55.1%)

問題の結果分析

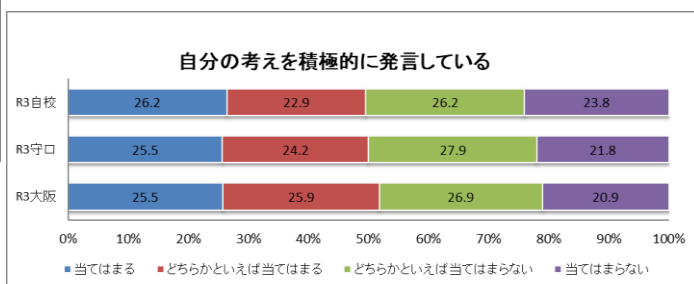
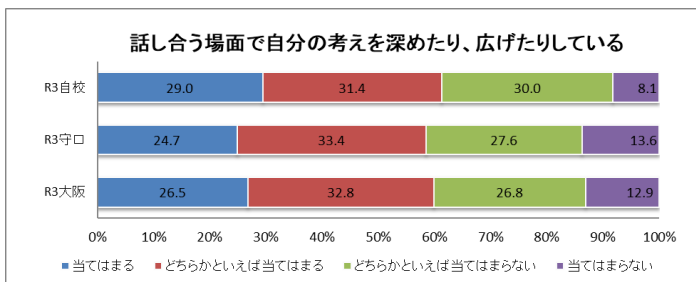
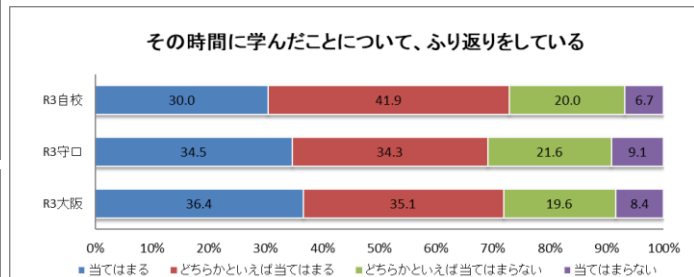
- 1(2)【B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を正しく理科し、自分の考えを持ち、伝える】の「会話から読み取る」「自身で考えたことを伝える」の正答率が85.6% (6年91.1%、5年80.4%) でよくできていました。
- 3(4)【E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝えようとする】の「文章から読み取る」「自身で考えたことを伝える」の正答率が86.1% (6年87.1%、5年85.0%) でよくできていました。
- 1(1)【A 図や表、グラフ、短い文章、会話等に関連付けて、正しくとらえる】の「図や表から読み取る」の正答率が39.4% (6年51.5%、5年28.0%) で課題が見られます。
- 2(1)【A 図や表、グラフ、短い文章、会話等に関連付けて、正しくとらえる】の「会話から読み取る」「資料の情報を整理して伝える」の正答率が37.1% (6年35.6%、5年38.3%) で課題が見られます。
- 2(3)【D 図や表、グラフ、短い文章、会話等の内容を関連付けて、順序良く、論理的に考える（プログラミング的思考）】の「図や表から読み取る」「資料の情報を整理して伝える」の正答率が29.3% (6年39.6%、5年19.7%) で課題が見られます。

児童アンケート調査より

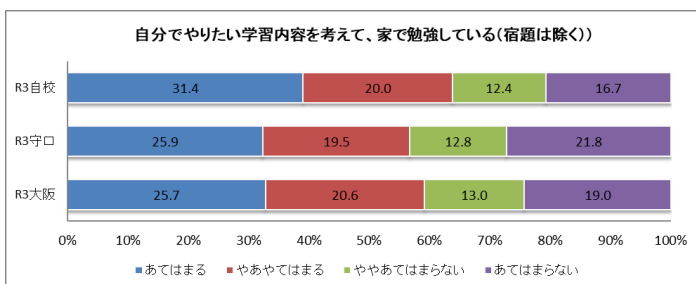
《学習に対する意識について》



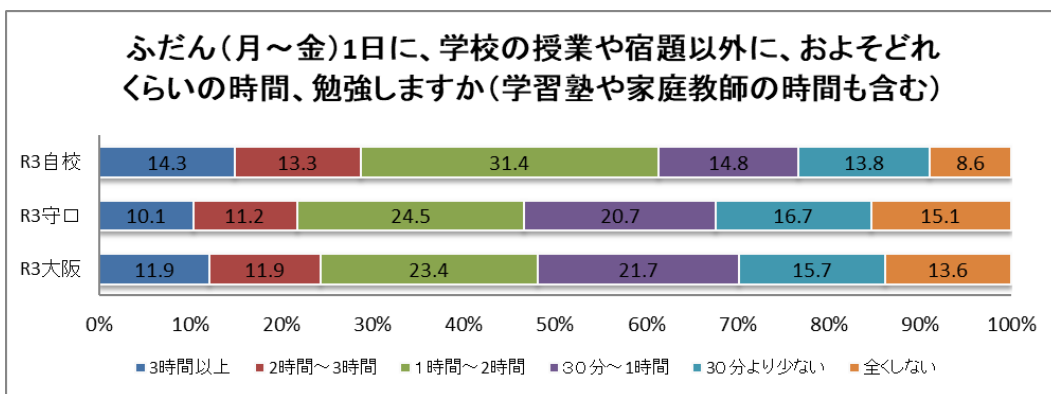
●「自分の考えを積極的に発言している」の肯定的回答が49.1%で課題が見られます。



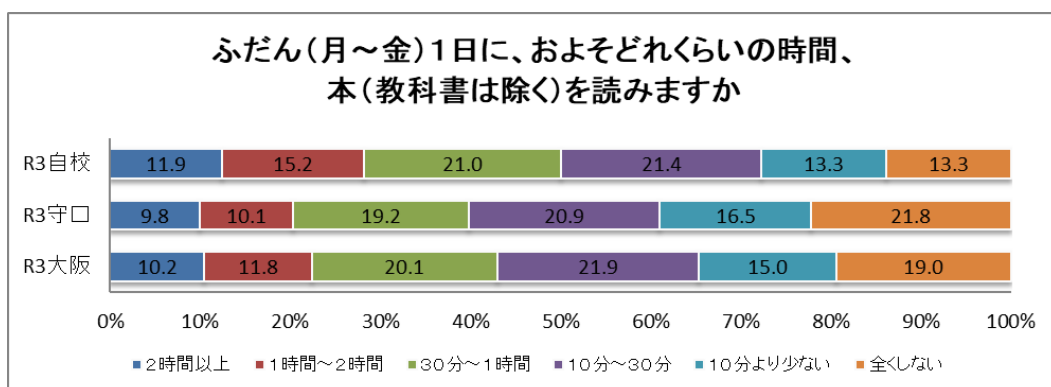
《家庭学習・読書習慣について》



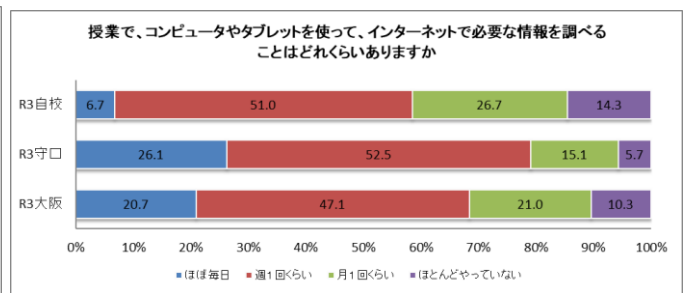
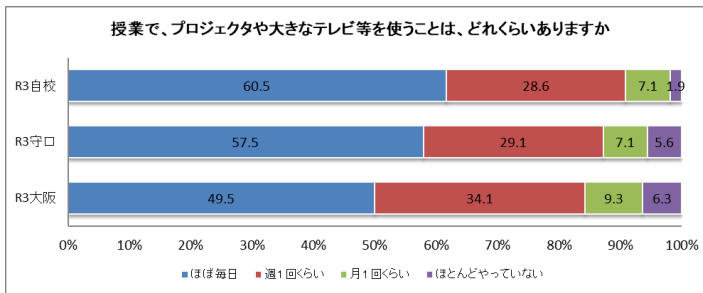
●「自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している」の肯定的回答は、守口市や大阪府より上回っていますが、51.4%で、自学自習力の育成の観点からは、課題が見られます。



○「ふだん30分以上、勉強している」児童の割合は、73.8%、「ふだん10分以上、本を読んでいる」児童の割合は、69.5%で、大阪府や守口市の割合を上回っています。

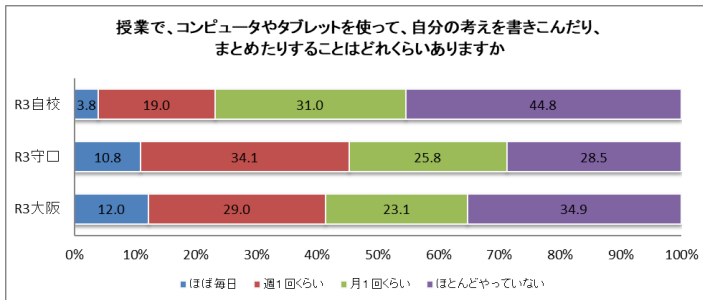


「ICT の活用について」

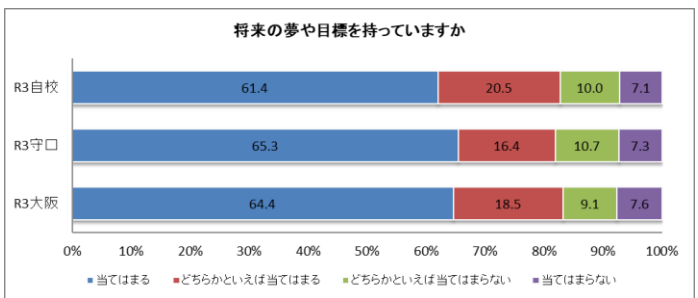
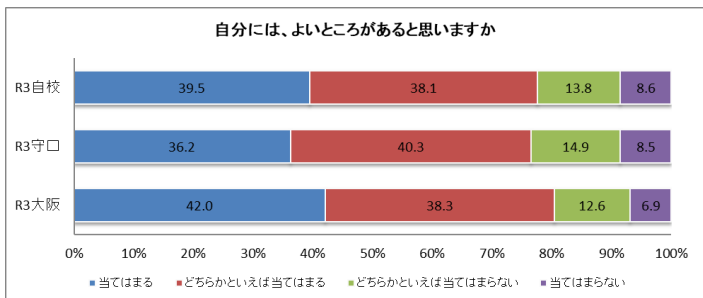


○「プロジェクタや大きなテレビをほぼ毎日使う」割合は、60.5%で、守口市や大阪府よりも高くなっています。

●「情報を調べたり、考えを書きこむ、まとめる」などの学習での活用の割合が、守口市や大阪府と割合との差が大きくなっています。

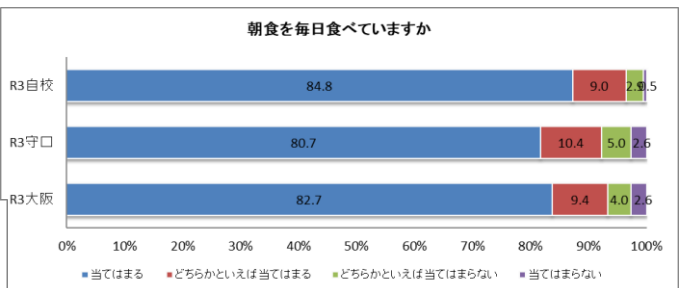
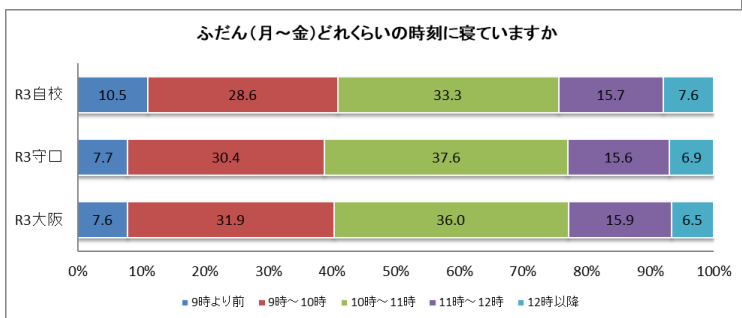


「自己有用感について」



「生活習慣について」

○「朝食を毎日食べていますか」の肯定的回答が、93.8%で、ほとんどの児童が食べてきています。



●「動画をみたり、ゲーム等で遊んだり、SNSをしたりする時間」が2時間以上の割合が、50.9%でした。また、4時間以上も約20%おり、長い時間使っていることが分かります。

